

2020年
9月3日

発行 日本共産党流山市議団
市議団事務所 7157-16140
議会事務局 7150-16099

コロナ禍でも誰ひとり取り残さない政治を

必要なのは徹底した
検査と保護・隔離

安倍総理大臣が突然の辞意を表明。首相退陣が直接には体調不良によるものだったにせよ、この政権の内政・外交・コロナ対応の行き詰まりは覆い難く、政権が残した立憲主義、国民生活、民主主義破壊の傷跡はあまりに大きなものがあります。いっぽうで、安倍氏が執念を燃やした憲法9条改定を阻止したことは国民運動の大きな成果です。今まさに、一つの新しい激動的な時代が始まったのではないのでしょうか。

流山市議会では6月議会でも一般質問を自粛・中止。「この国難に議会は何をしているのか」とのお叱りの声も……。9月議会では、一般質問、委員会審議、意見書提案などを通じて、秋・冬にも心配されている新型コロナウイルス感染症「第3波」への対策等、市民生活の安全・安心を確保するために全力を尽くします。

会期 9月3日～10月6日 34日間

(議案25件、陳情4件、発議7件他)

9月 3日(木) 本会議 午後1時開議

8日(火) 一般質問 午前10時～

14日(月) 総務委員会

15日(火) 教育福祉委員会

16日(水) 市民経済委員会

17日(木) 都市建設委員会

23日(火) 決算特別委員会

植田和子議員が担当

10月 6日(火) 本会議 午後1時開議

議案・陳情・意見書など採択

一般質問

いぬい紳一郎議員 9月10日(木) 午前11時頃

1、新型コロナウイルス感染症対策について問う。

①、市長は 新型コロナウイルス感染症を収束させるためになどどのような対策が必要と考えているのか。また、そのために市長としてどのようなリーダーシップを発揮してきたのか。

②、医療提供体制の整備について以下のとおり問う。

ア、「新型コロナウイルス感染症対策条例」にもとづく、医師会や医療機関との連携について

イ、PCR検査センターがようやく本市でも開設されたが、検査体制をどう拡げていくのか。

ウ、陽性者を治療や保護・隔離するための病床や療養施設を確保するための取り組みについて

エ、感染予防用品の不足に備えたマスク、防護具などの備蓄について、他

③、医療機関の多くが経営危機を迎えている。地域医療の現状をどう認識し、地域医療の崩壊を防ぐため、どのような取り組みを進めるのか。

2、集中豪雨で河川がはん濫するケースも増えているが、江戸川のはん濫を想定した防災対策はどこまで進んでいるのか。

高橋あきら議員 9月10日(木) 午後1時頃

1、小中学校での新型コロナウイルス感染症対策について

①、子どもと教職員の健康と命を守り、よりよい教育の維持・充実について、教育長の見解を問う。ア、かつてないほどの不安とストレス、学習に対する課題等、児童生徒の実態をどう捉えているのか。

イ、長時間過密労働に加え、新型コロナウイルス感染症対策等で教職員の負担が増えていると捉えているが、教職員の実態をどう捉えているのか。

ウ、新しい生活様式や身体的距離の確保と、「40人学級」とでは矛盾が生じているのではないのか。

他

2、学生応援給付金制度の拡充について

3、学童保育の新型コロナウイルス感染症対策について

①、三密対策や消毒液の補充等、指定管理者との連携をはかるべきではないか。他

4、東部地域の森の保全について

5、東部地域、前ヶ崎城址付近の散策路整備について

小田桐たかし議員 9月10日(木) 午後2時頃

1、指定ごみ袋の導入計画について

2、社会福祉法人における法令順守の取り組み・徹底について

3、介護・高齢者への新型コロナウイルス感染症対策について

①、介護事業所における全国調査では、過半数が減収となり、倒産件数は全国で58件と介護保険法が施行されて以降で最多となった。また現場からは、様々な声が聞かれているが、市の取り組みを問う。

②、厚労省通知により、「感染症による影響を利用者に負担させる」、「算定に当たって利用者の了解を必要とし、利用者間で格差が生じる」など様々な課題が見られるが、市の取り組みを問う。

③、高齢者施設等で陽性者が発生した場合は、医療機関へ入院させて治療・療養体制を保障できるような体制強化はどうなっているのか。他

4、新型コロナウイルス感染症対策における住民生活の維持や感染機会を削減・行動変容の徹底等を行うための取り組みについて

①、『緊急小口資金貸付』の支給遅れ対策として松戸市のようにつなぎ融資(立替払い)を実施すべきかどうか。

②、市内居住者における感染者の完治の有無や後遺症の状況把握、PCR検査の実施状況等情報開示や情報収集をいっそう強化すべきと考えるがどうか。

③、自宅療養となっている患者さんへの生活支援や、親御さん等家庭内で感染者が出た場合の子どもの受入支援を創設するべきかどうか。他

5、通学路の安全対策について